

令和5年度

福井大学大学院工学研究科  
博士前期課程項  
目  
募集要項  
(第2次募集)  
一般選抜

令和4年12月



日 程 概 要	
選 抜 方 法	一般選抜
出願資格事前審査書類提出期限	令和4年12月7日(水)
出 願 期 間	令和4年12月12日(月)～14日(水)
選 抜 期 日	令和4年12月22日(木)
合 格 者 発 表	令和5年1月18日(水)
入学手続書類の送付	令和5年1月18日(水)
入 学 手 続 期 間	令和5年1月23日(月)～25日(水)

## 目 次

<b>I. アドミッション・ポリシー</b> .....	1
<b>II. 共通事項</b>	
1. 募集人員.....	3
2. 出願期間.....	3
3. 障がいのある入学志願者の事前相談.....	3
4. 合格者発表.....	3
5. 入学手続等.....	4
6. 安全保障輸出管理について.....	4
7. 個人情報の利用.....	4
<b>III. 一般選抜</b>	
1. 出願資格.....	6
2. 出願手続.....	7
3. 選抜方法等.....	8
<b>IV. 学力検査等の方法</b> .....	9
<b>V. 工学研究科博士前期課程案内</b>	
1. 各専攻の授業科目及び授業担当教員.....	11
<b>VI. 学生募集要項等の請求方法</b> .....	13
本研究科所定用紙（綴じ込み）	
・入学志願票        ・写真票        ・受験票        ・振込依頼書        ・封筒（受験票等送付用）	
・あて名票        ・入学願書受付票        ・出願資格審査調書（出願資格(9), (10)該当者）        ・在留資格証明書	

### <注意>

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。  
[ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9：00～17：00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

# I. アドミッション・ポリシー

## (1) 養成する人材像

工学研究科では、確かな専門知識と高い倫理観を有し、自然や環境と調和した人間社会の豊かな発展に貢献できる工学系人材を養成します。特に、博士前期課程では、スペシャリストとしての専門の深い知識と同時に、分野の多様性を理解し、他者との協調の下、異分野との融合・学際領域の推進も見据えることができるジェネラリストとしての幅広い知識・俯瞰的視野を持つ高度専門技術者及び研究者等を養成します。

### ○産業創成工学専攻

化学やバイオ、機械に関連する基盤技術に関する知識と技術経営を融合し、繊維等の特色ある地域産業や自動車等の輸送機器産業、医療や農業、食品産業などのさまざまな産業・分野における活発な発展に資する研究開発とその教育を行い、「ものづくり」に加え「ことづくり」をも担う高度専門技術者及び研究者等を養成します。

### ○安全社会基盤工学専攻

エネルギーの安定的確保や持続可能な都市・地域のための社会基盤実現が社会から強く求められている中、そのような安全・安心で快適・効率的な社会を創造し持続させるために必要な社会の抱えているリスクの軽減や人類の利便性の向上に資する研究開発とその教育を行い、持続可能な社会の創造に必要な技術革新に取り組み、新たな社会基盤技術の創出に貢献する高度専門技術者及び研究者等を養成します。

### ○知識社会基礎工学専攻

第3次産業革命（情報・通信）および第4次産業革命（ロボット・知能システム）の技術革新を利活用して、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会（Society5.0）の実現に向けた、知識基盤社会に資する基礎研究およびその教育を行い、Society5.0で示された新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会である「知識基盤社会」を支える工学を担う高度専門技術者及び研究者等を養成します。

## (2) 求める学生像

### (2-1) 能力、意欲等

工学研究科博士前期課程では、養成する人材像を踏まえ、以下のような入学者を求めます。

1. 専門分野の研究に取り組みたい人
2. 未来社会を支える科学技術の創造と開発に意欲のある人
3. 人間社会の持続的発展に寄与する研究開発をグローバルな視点から進めたい人

### (2-2) 入学までに学習・修得しておくことが期待される内容

志願者には、志望する専門分野の基礎知識（大学卒業程度）とその活用方法、論理的思考力、英語の能力などを身に付けておくことを期待します。

### (3) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、推薦選抜、一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜を実施します。それぞれの選抜においては、求める学生像を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

以下において、下線が引かれた学力検査や資料等は判定にあたり重視するものです。ただし、下線が引かれていないものでも、評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

**推薦選抜**は、成績が優秀で人物ともに優れ、在籍する大学の学長又は学部長等が責任をもって推薦できる者を対象とします。口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

**一般選抜**では、原則として、基礎科目、専門科目、外国語科目の試験を課します。その結果と学部での成績により、志望する専門分野の基礎知識や英語の能力等を評価します。さらに、口述試験及び面接、書類審査により意欲・適性等を評価します。これらの結果を総合して評価・判定します。

**外国人留学生特別選抜**は、国費外国人留学生又は私費外国人留学生として入学を希望する者で、成績優秀な者を対象とします。学力検査を免除し、口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性・目的意識等を総合的に評価・判定します。

**社会人特別選抜**では、企業等に勤務している者で所属長からの推薦を受けた者を対象とします。口述試験及び面接、書類審査により、志望する専門分野の基礎知識および意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

## Ⅱ. 共 通 事 項

### 1. 募集人員

専攻名	コース名	一般選抜
安全社会基盤工学専攻	原子力安全工学コース	若干名

※上記以外のコースは第2次募集を行いません。

### 2. 出願期間

**令和4年12月12日(月)～14日(水) 17時必着**

- (1) 郵送の場合は書留郵便とし、封筒の表面に「工学研究科博士前期課程入学願書在中」と朱書の上、最終日の17時までに必着するよう十分配慮し送付してください。ただし、期間後に到着した出願書類等のうち、出願期間最終日の2日以前の発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。
- (2) 持参の場合は、9時から17時に本学入試課へ提出してください。ただし、検定料の納入は必ず所定の手続により行ってください。
- (3) 出願期間終了後に受験票及び試験室案内を送付します。選抜期日の2日前までに受験票が到着しないときは、本学入試課に問い合わせてください。

### 3. 障がいのある入学志願者の事前相談

本研究科入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学入試課（電話 0776-27-9927）に出願前申請を行ってください。

また期限後にやむを得ない事情等により申請が必要になった場合には、速やかに電話等により相談ください。

#### 1. 出願前申請の期限

出願期間開始7日前まで

#### 2. 事前相談の申請方法等

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

### 4. 合格者発表

**令和5年1月18日(水)10時**

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) の「受験生の方へ」内に合格者受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。

なお、電話による照会には一切応じません。

## 5. 入学手続等

合格者には、合格通知書とともに、「入学手続き要項」等を送付するので、その内容をよく確認して手続を行ってください。

なお、入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

### (1) 入学手続期間・方法

#### **令和5年1月23日(月)～25日(水) (最終日17時まで)に必着のこと)**

入学手続は、郵送又は持参によるものとします。

- ① 郵送の場合は、入学手続書類等を本研究科所定の封筒に同封のうえ、書留郵便で入学手続期間内に必着するよう送付してください。入学手続期間後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情を考えて早めに送付してください。
- ② 持参の場合は、入学手続期間の9時～17時に本学入試課へ提出してください。

### (2) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円 (予定額)
- ② 授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

入学時及び在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

#### ③ その他必要な経費

##### 傷害保険及び賠償責任保険

本学では、教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に学生全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

下記は、大多数の国公立大学が日本国際教育支援協会の賛助会員となり、低廉な保険料で学生に提供している保険です。

学生教育研究災害傷害保険 (通学特約付)	保険料2年間分 1,400円
学研災付帯賠償責任保険	保険料2年間分 680円

### (3) 入学料免除・徴収猶予と授業料免除・徴収猶予

入学料・授業料の納入が困難な者には、入学料免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予制度があります。

希望者は、合格者に送付する「入学手続要項」の入学料免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予に関する欄を熟読して、入学手続前に所定の申請をしてください。

## 6. 安全保障輸出管理について

福井大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「福井大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規則事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「福井大学安全保障輸出管理規程」

<https://www4.kitei-kanri.jp/unv/fukui/doc/extramural/rule/156.html>

## 7. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備(学籍管理、履修準備含む)、④入試の改善や志願動向等の調査、⑤入学後の履修指導や教務関係事務に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供

することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等，行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに，当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で，当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお，この場合には，当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を，当該本人の権利利益を不当に侵害する恐れがない範囲で，学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

### Ⅲ. 一 般 選 抜

#### 1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学を卒業した者又は令和 5 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより該当課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和 5 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 5 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (9) 令和 5 年 3 月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
  - ① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
  - ② 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者
  - ③ 外国において、学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
  - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までには 22 歳に達しているもの

※ 出願資格の（9）又は（10）によって出願する者は、出願期間前に出願資格審査が必要となるので、「出願資格審査調書」（本研究科所定の用紙）に必要書類を取りそろえ、令和 4 年 12 月 7 日（水）17 時までには本学入試課へ提出してください。  
なお、審査の結果は出願期間開始日までに本人あてに通知します。



## 2. 出願手続

(1) 出願書類の提出先

〒910 - 8507 福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課

(2) 出願書類等

書 類 等	摘 要
入 学 志 願 票	本研究科所定の用紙に、必ず自書してください。
写真票・受験票	縦 4 cm×横 3 cmの写真（正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前 3 か月以内に撮影したもの）を各 1 枚貼付してください。
卒 業 証 明 書	出身大学の卒業証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。 卒業見込みの者は卒業見込証明書を提出してください。なお、 <b>本学卒業者及び卒業見込者は提出不要</b> です。
学 位 証 明 書	・出願資格（2）に該当する者は、学位証明書を提出してください。学位を授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明書を提出してください。 ・外国の大学その他の外国の学校を卒業した者は、学士相当の学位を取得したことを証明する書類（学位取得証明書等）を提出してください。 注）修士又は博士の学位を授与している場合であっても、学士の学位を取得した大学の証明書が必要です。）
成 績 証 明 書	出身大学の成績証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。 出願資格（2）に該当する者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科の成績証明書の両方を提出してください。
TOEIC/TOEFL 公 式 認 定 証	TOEIC 又は TOEFL のスコア（個人用公式認定証）を提出して下さい。  ・ TOEIC の場合 : Official Score Certificate ・ TOEFL の場合 : Test Taker Score Report 又は Official Score Report  なお、スコアは 2020 年 9 月 1 日以降発行のものに限ります。また、TOEIC-IP（カレッジ TOEIC）、TOEIC SW、TOEIC Bridge、TOEFL ITP のスコアは認めません。出願時にスコアのコピー提出が必要であり、選抜試験日にスコアの原本確認を行うので、当日必ず持参してください。原本確認ができない場合は、失格となる場合があります。
検定料振込 受付証明書	<b>30,000 円</b> と、本研究科所定の検定料振込依頼書を持参のうえ、最寄りの銀行等窓口で納入（郵便局、ゆうちょ銀行の場合は窓口にて口座からの振込のみ可能）し、納入時に発行される「検定料振込受付証明書」に「振込受付日付印」が押印されていることを必ず確認し、入学志願票の所定の欄にしっかりとりのり付けしてください。 なお、検定料は、令和 4 年 12 月 5 日（月）から 12 月 14 日（水）の金融機関窓口受付終了時刻までに払い込んでください。 ATM、ネットバンキング、コンビニエンスストアは使用しないでください。
返 信 用 封 筒 (受験票等送付用)	本研究科所定の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、244 円分の切手を貼ってください。
あ て 名 票 (合格・入学手続通知用)	本研究科所定の用紙 合格通知及び入学手続書類の送付に使用するので、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
入 学 願 書 受 付 票 (あて名票と同一用紙)	本研究科所定の用紙 必要事項を正しく記入してください。
該 当 者	住民票 本邦在留の外国人は、市区町村長発行の住民票(本人に係るすべての事項を証明したもの)を提出してください(コピー不可)。海外住居者は、住民票の代わりにパスポートのコピー(姓名、国籍及び在留資格が記載されたページ)を提出してください。なお、在留資格が「留学」以外の者は、在留資格に係る承諾書(本学所定の用紙)を提出してください。

注：出願資格の(9)又は(10)に該当する者は、出願資格審査で既に提出されている書類に関しては、改めて提出する必要はありません。

(3) 出願に当たっての留意事項

- ① **出願者は、出願前に、あらかじめ希望する指導教員の了承を得てください。**
- ② 出願書類は黒のボールペン書き（消せるボールペンは使用不可）とし、かい書で正確に記入してください。
- ③ 提出する書類のうち証明印、サインのあるものは、コピーの提出は認めません。
- ④ 受理した出願書類等は、どのような理由があっても返還しません。
- ⑤ 納入済の検定料は、次の場合を除き、どのような理由があっても返還しません。
  - 1) 検定料を振込んだが、本研究科に出願しなかった場合
  - 2) 検定料を誤って重複して振込んだ場合なお、返還方法については本学入試課にお問い合わせください。
- ⑥ 出願書類等の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑦ **日本語又は英語以外で書かれた書類については、日本語の訳文を添付してください。**  
(Please attach Japanese translation to documents that are written in languages other than Japanese or English.)

### 3. 選抜方法等

(1) 選抜方法

コースで実施する、面接(口述試験を試験を含む)及び書類審査の結果を総合して行います。  
9ページからの「IV.学力検査等の方法」を参照してください。

(2) 選抜期日等

- ① 日 時 **令和4年12月22日(木)**
- ② 試験場 福井大学工学部 福井市文京3-9-1  
試験室案内は、受験票送付時に同封します。

(3) 受験上の留意事項

- ① 受験者は、**必ず受験票を携帯し、試験開始15分前までに各試験室等へ集合**してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。

#### IV. 学力検査等の方法

##### 安全社会基盤工学専攻

##### 【原子力安全工学コース】

	12月22日(木)	
選抜区分	外国語科目	口述試験 及び面接
一般	※	13:00～14:20(予定)

※ 外国語科目	選抜試験日は、外国語科目(英語)の試験は実施しない。TOEIC又はTOEFLのスコア(個人用公式認定証)で評価する。 出願時にスコアのコピーを提出すること。また、選抜試験日にスコアの原本確認を行うため、当日必ず持参すること。原本確認ができない場合は、失格となる場合がある。 スコアの有効期限等:公式認定証は2020年9月1日以降発行のものであること。また、TOEIC-IP(カレッジTOEIC)、TOEIC SW、TOEIC Bridge、TOEFL ITPのスコアは認めない。
口述試験 及び面接	入学後の研究計画に関するプレゼンテーション(3分)、ならびにその内容と当該研究分野の専門知識に関する口述試験(17分)とする。

### 「新型コロナウイルス感染症対策のための注意事項」

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、必ずマスクを着用（鼻と口の両方を確実に覆うこと）してください。（アレルギー等やむを得ない理由でマスクの着用が困難な場合は、原則2日前までにその旨入試課まで申し出てください。）休憩時間等の他者との接触、会話を極力控えるようにしてください。
- (2) 試験室への入退出を行うごとに、備え付けのアルコール製剤で必ず手指消毒を行ってください。
- (3) 試験が終了しても試験場内ではマスクを着用し続けてください。マスクを取り替えた場合であっても、試験場内にマスクを廃棄しないでください。試験終了後は、各自寄り道などはせず、なるべくまっすぐ帰宅してください。帰宅後はまず手洗いやうがいを行ってください。

### 「新型コロナウイルス感染症対応における受験可否の基準」

以下の枠内記載の状態にある者は、受験できません。また、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

なお、試験場における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大を防止し、受験生が安心して受験できる環境を確保するために、発熱・咳等の症状がある者は、あらかじめ医療機関で受診するようにしてください。試験当日に息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい者が発熱・咳等の比較的軽い風邪の症状（※）がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、受験の可否について、かかりつけ医や「受診・相談センター」（地域により名称が異なることがあります。）に相談してください。

#### <受験できない者>

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊療養施設において療養中の者
- ② 試験日時点で保健所等から濃厚接触者に該当するとされている者
- ③ 海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中<sup>(注)</sup>の者
- ④ ※の症状により、かかりつけ医等に相談の結果、受験を控えるよう診断された者

(注) 『入国後の待機期間』については、外務省ホームページを参照願います。

# V. 工学研究科博士前期課程案内

## 1. 各専攻の授業科目及び授業担当教員

区 分	授 業 科 目
工 学 研 究 科 共 通	科学英語コミュニケーションⅠ, 同Ⅱ, 科学英語表現Ⅰ, 同Ⅱ, 科学英語特別講義, 大学院海外短期インターンシップⅠ, 同Ⅱ, 長期インターンシップ, PBLⅠ, 同Ⅱ, 生命複合科学特論Ⅰ, 同Ⅱ, 工業日本語特論Ⅰ, 同Ⅱ

専攻	授 業 科 目	授 業 担 当 教 員 名
産業創成工学専攻	産業創成工学特別演習及び実験Ⅰ, 同Ⅱ, 産業創成工学特別講義Ⅰ, 同Ⅱ, 同Ⅲ, 同Ⅳ, 産業創成工学ゼミナールⅠ, 同Ⅱ, MOT概論, 産業創成工学PBL, 経営学基礎, 技術経営のすすめ, 技術系のマネジメント基礎, 起業化経営論, システム創造思考法, 異分野コミュニケーション, 材料・加工工学概論, 繊維・高分子材料科学, 繊維・高分子架橋体工学, 繊維・高分子加工工学, 繊維・高分子材料レオロジー特論, カラーレーション工学, 無機材料化学特論, 繊維産業工学, セラミックス材料特論, 塑性加工工学, 金属材料強度学, ナノトライボロジー, 機械加工学特論, マルチスケール材料応用力学, サステイナブルケミストリー概論, 重合反応論, 界面コロイド化学, 高分子設計論, 応用分析化学, 有機化学特論, 高分子構造特論, 高分子分子論, 線形粘弾性解析論, 化学工学特論, 高分子反応工学, ライフサイエンス概論, 生物有機化学特論, バイオ高分子化学特論, 分子構造・環境解析化学特論, 分子細胞生物学特論, 生命機能科学特論, バイオマテリアル特論, 生物工学特論	<p><b>繊維先端工学コース</b> 末信一朗, 田上秀一, 中根幸治, 久田研次, 藤田聡, 山下義裕, 植松英之, 坂元博昭, 廣垣和正, 浅井華子, 高村映一郎, 平田豊章</p> <p><b>材料開発工学コース</b> 内村智博, 阪口壽一, 佐々木隆, 徳永雄次, 飛田英孝, 橋本保, 入江聡, 岡田敬志, 金在虎, 鈴木清, 田中稜, 内藤順也</p> <p><b>生物応用化学コース</b> 沖昌也, 小西慶幸, 櫻井明彦, 杉原伸治, 前田寧, 吉見泰治, 里村武範, 鈴木悠, 高橋透, 寺田聡</p> <p><b>創造生産工学コース</b> 大津雅亮, 岡田将人, 本田知己, 旭吉雅健, Xiao-Wen Lei</p> <p><b>経営技術革新工学コース</b> 米沢晋, 竹本拓治</p>
安全社会基盤工学専攻	安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅰ, 同Ⅱ, 安全社会基盤工学特別講義Ⅰ, 同Ⅱ, 同Ⅲ, 同Ⅳ, 安全社会基盤工学ゼミナールⅠ, 同Ⅱ, 社会インフラ概論, 量子エネルギー応用論, 半導体デバイス, 電子物性特論, システム工学特論, 信号処理特論, 計算科学, 計算機工学特論, 建築弾塑性力学, 都市論, 都市計画特論, 土木構造特論, 構造材料学, 日本建築史特論, 建築計画学特論, 建築インターンシップ, エネルギー概論, 冷凍空調工学特論, 数値流体力学, 統計力学, エネルギー工学特論, パワーエレクトロニクス特論, 電力システム, 熱事象・エネルギーシステム, 原子炉システム基礎Ⅰ, 同Ⅱ, 核燃料サイクル実習, 原子炉実習, 原子炉物理学, 次世代炉システム, 熱水力安全工学, 原子力材料学特論, 核燃料工学特論, プラント安全工学基礎Ⅰ, 同Ⅱ, 原子力の安全性と地域共生, 原子力プラント設計工学, 原子力プラント保全工学, 原子力安全演習Ⅰ, 同Ⅱ, リスクマネジメント概論, 安全安心の熱流体工学, 地震工学特論, 国土・地域計画特論, 原子力規制・法規, 放射線基礎Ⅰ, 同Ⅱ, 放射化学特論, 放射線化学・生物学特論, 原子力防災特論, 放射線物理学特論, 放射線利用, リスク評価特論, 廃止措置・廃棄物管理工学, 原子力・耐震耐津波工学特論, 安全設計概論, 精密メカトロニクス, 機械システム工学, 機械動力学, 破壊力学, 破壊力学実習, ロボット工学, 回路・システム論, システム制御論, 暗号と情報セキュリティ, 構造振動解析, 建築構造設計学, 建築耐震構造解析学, 建築都市設計論, 地盤解析学, 環境水理学, 交通論, 建築換気力学, 光環境工学特論, 原子力工学基礎Ⅰ, 同Ⅱ	<p><b>機械設計工学コース</b> 田中太, 永井二郎, 飯井俊行, 山田泰弘, 伊藤慎吾, 太田貴士, 川井昌之, 党超鋌, 吉田達哉, 福島啓悟,</p> <p><b>電気システム工学コース</b> 王榮龍, 小原敦美, 廣瀬勝一, Asubar Joel Tacla, 伊藤雅一, 木村欣司, 坂口文則, 茂呂征一郎, 重信颯人, 田邊英彦</p> <p><b>建築土木環境工学コース</b> 明石行生, 石川浩一郎, 磯雅人, 川本義海, 小嶋啓介, 野嶋慎二, 井上圭一, 菊地吉信, 鈴木啓悟, 原田陽子, 藤本明宏, 桃井良尚, 寺崎寛章, 西本雅人, 本間礼人, 山田岳晴, 浅野周平</p> <p><b>原子力安全工学コース</b> 桑水理, 中島恭平, 松尾陽一郎, 松田直樹, 川崎大介, 石垣将宏, 有田裕二, 泉佳伸, 宇塚正美, 福元謙一, 安田仲宏, 大堀道広, Willem van Rooijen</p>

知識社会基礎工学特別演習及び実験Ⅰ，同Ⅱ，知識社会基礎工学特別講義Ⅰ，同Ⅱ，同Ⅲ，同Ⅳ，知識社会基礎工学ゼミナールⅠ，同Ⅱ，ヒューマンサイエンス概論，三次元情報処理特論，パターン認識特論，聴覚情報処理，バイオメカニクス，最適運動計画特論，人間知能システム論，生物情報学，ヒューマンロボティクス，コンピュータサイエンス概論，計算量理論，映像情報符号化特論，計算機組織論，量子力学と量子コンピューティング，情報信号処理工学特論，情報通信論，通信ネットワークデザイン，デジタル移動通信特論，計算物理学特論，計算化学特論，移動知能論，サービスコンピューティング特論，モバイルコンピューティング論，物性物理概論，物性物理学特論，量子光学Ⅰ，同Ⅱ，核磁気共鳴特論，電気エネルギー基礎論，分子熱力学，非線形光学，光エレクトロニクス特論，電波物性，低温物理学，基礎電磁波論，マイクロ波分光学，遠赤外光学，遠赤外領域工学概論，電子管物理特論，固体電子物性，半導体表面界面物性，粒子線計測学，放射線物理学，高分子科学，レーザーフォトンクス，極限環境物性学，界面熱力学，薄膜工学，数理情報科学概論，数理解析基礎，解析学特論，代数学特論，幾何学特論，相対論特論，量子力学特論，素粒子物理学，量子統計力学特論，デジタル制御論，知識情報工学論，脳情報学，データベース論，深層学習，データサイエンスプログラミング，線形計算特論，画像計測特論，機械学習特論，データサイエンス特論，非線形システム論

#### 知能システム科学コース

小高知宏，黒岩丈介，高田宗樹，高橋泰岳，浪花智英，平田隆幸，藤垣元治，浅井竜哉，小越康宏，片山正純，庄司英一，田中完爾，長宗高樹，谷合由章，築地原里樹

#### 情報工学コース

橘拓至，東海彰吾，樋口健，藤元美俊，森眞一郎，山上智幸，山田徳史，吉田俊之，岩田賢一，川上朋也，長谷川達人，福間慎治，森幹男，渡場康弘，張潮，廣田悠輔

#### 数理科学コース

古閑義之，高木丈夫，田嶋直樹，玉井良則，橋本貴明，松本拓也，古石貴裕，佐藤勇二，

#### 電子物性コース

金邊忠，塩島謙次，山本晃司，川戸栄，牧野哲征，今林弘毅

#### 電磁工学コース

小川泉，熊倉光孝，光藤誠太郎，浅野貴行，西海豊彦，守安毅，菊池彦光，立松芳典，谷正彦，Escaño Mary Clare Sison，藤井裕，石川裕也，福成雅史，古屋岳，山口裕資

注：授業科目及び授業担当教員は予定であり，今後変更の可能性もあります。

#### <参考>2022年度 Curriculum of the Global Engineering Program for International Students (GEPIS)「国際総合工学特別コースカリキュラム」(GEPISカリキュラム)

本入試に合格した者は，通常の博士前期課程カリキュラムで学ぶことも，講義・演習・研究発表等を英語で行うGEPISのカリキュラムで学ぶこともできます。(どちらか一方を選択します。なお，GEPISのカリキュラムには，別途GEPIS専用の選抜で入学した外国人留学生が参加します。)

GEPISカリキュラムの履修を希望する者は，合格後に指導希望教員に申し出てください。(指導希望教員の推薦と所属専攻の承認が必要となります。)

## VI. 学生募集要項等の請求方法

### 1. 大学への請求方法

「博士前期課程募集要項（第2次募集）請求」と明記し，送付先（請求者）の郵便番号，住所，氏名，電話番号を書いて，本学入試課へメール又はFAXにより申し込んでください。  
ゆうメールの着払いで送付します。

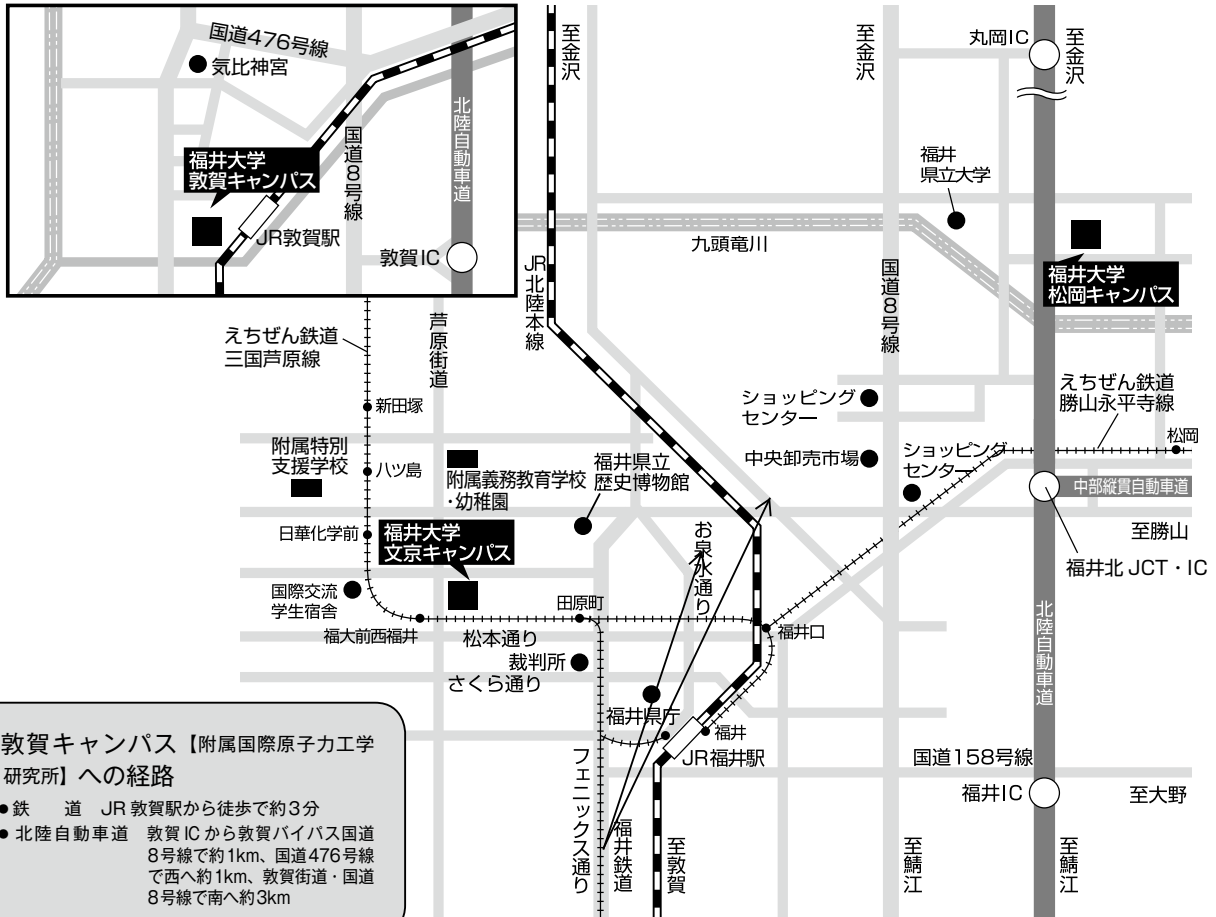
E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

F A X : 0776-27-8010

### 2. 窓口での請求方法

本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日の9:00～17:00）  
文京キャンパス：福井市文京 3-9-1 福井大学学務部入試課

# 福井大学位置図



**■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路**

- 鉄道 JR 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

**■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路**

- バス JR 福井駅(約10分)→福井大学前下車 [JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から [JR 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分] \*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅(約10分)→福井大学文京下車 [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km 福井ICから国道158号線で西へ約8km

**■松岡キャンパス【医学部】への経路**

- バス JR 福井駅(約35分)→福井大学病院前下車 [JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 JR 福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス [JR 福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス] \*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅(約30分)→福井大学松岡下車 [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km \*標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

## 福井へのアクセス

### 大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井 (特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都-<名神・北陸>-福井 (京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

### 名古屋・静岡方面から

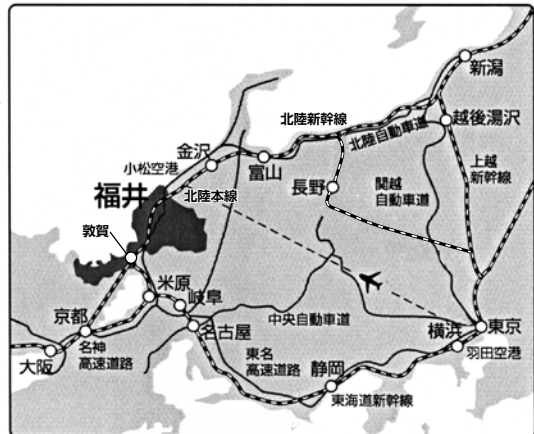
- JRで 名古屋・静岡-米原経由-福井 (名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バスで 名古屋-<名神・北陸>-福井 (約2時間50分)

### 東京方面から

- 飛行機で 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京-米原経由-福井(新幹線・特急約3時間30分) 東京-金沢経由-福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車で 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約6時間30分) \*高速バスもあります。

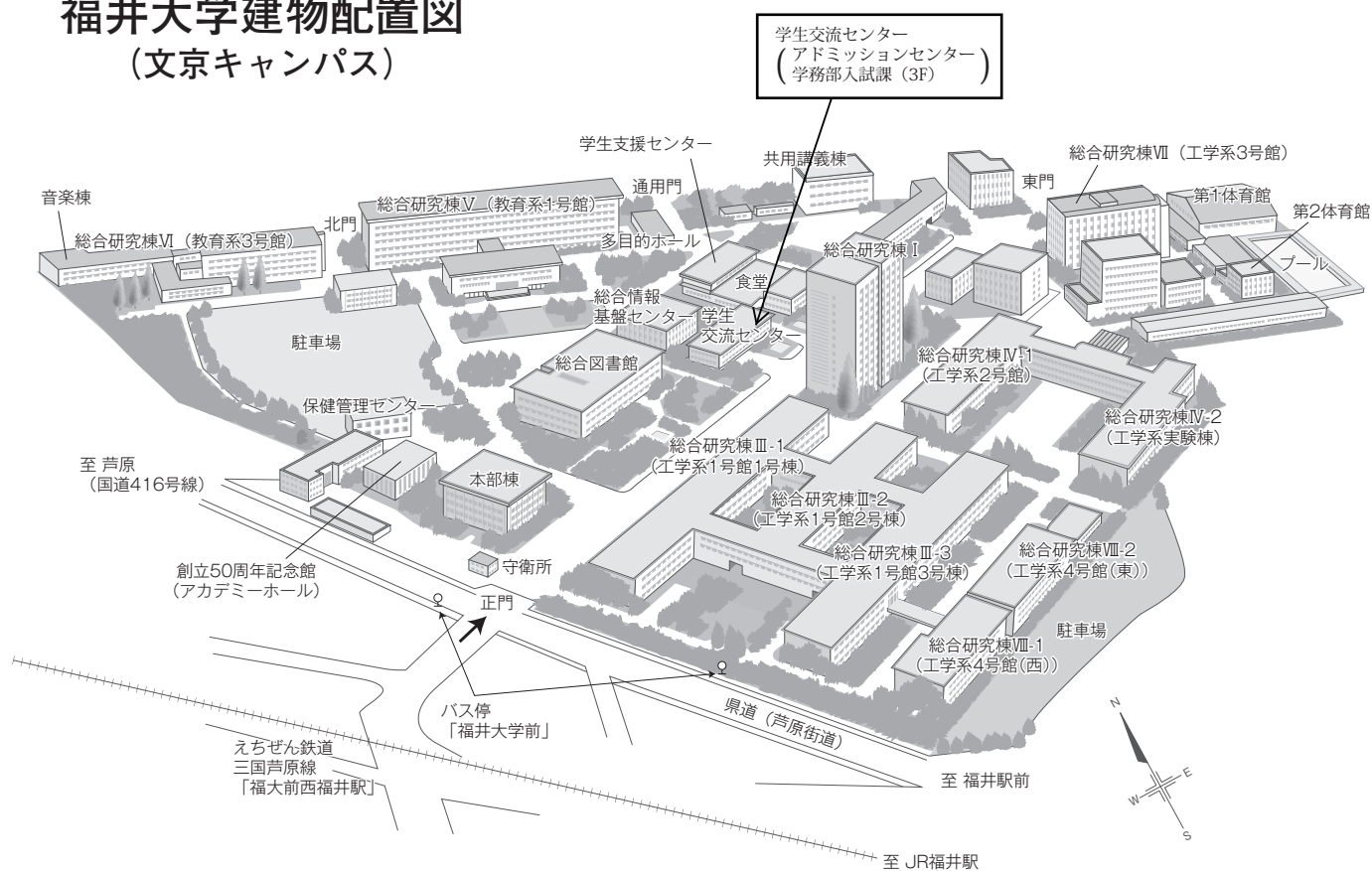
### 金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢-<北陸>-丸岡-福井北JCT・IC(約1時間)





# 福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



## 《受験に関する問い合わせ先》

### 福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

#### <注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。